

都 第 270 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

河北町長 田 宮 栄佐美



今後の道路行政についての意見・提案の提出について (回答)

平成20年9月19日付け国道企第37号にて依頼のありました標記の件について、別紙提案書により回答いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

(問い合わせ先) 河北町役場

都市整備課管理係

TEL 0237-73-2111

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

山形県河北町

道路は、経済・社会基盤を形成する交通機能と通勤等あらゆる日常生活を支える地域的な交通機能、また、救急患者の搬送、災害時の避難路等としての機能を有しており、国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会資本であるが、地方は都市部と比べ、高速道路や高規格道路、都市計画道路の整備率は極めて低い状況である。遅れている地方の「真に必要な道路」の整備を拡充強化し、地域の資源・特性を活かし地域活力を高め、次世代に誇ることのできる「均衡ある国土形成」に配慮した道路行政を目指すことが重要である。

○現状

山形自動車道や東北中央自動車道の高速道路の整備は進められているが、全国平均の高速道路の整備率や東北地方の整備率と比較して山形県の整備率は50%と低く、東北最下位、全国でも42位となっている。しかも、供用を開始している区間は切れ切れで、高速道路及び高規格道路のネットワーク化が図られていない現状である。

そのため、経済を支える各種産業振興や雇用の確保、医療機関への救急搬送、災害時の輸送などにも支障をきたし、ひいては都市部との較差がますます拡大することが懸念される状況にある。更に、雪国における冬期間の生活道路の確保は必要不可欠であり、冬道でも安全で安心な通行が確保できる環境整備が望まれている。

○課題

山形県においては、公共交通機関が少なく、移動する交通手段としては自動車の利用が欠かせない状況であり、東京都と比較して一世帯当たり自動車保有台数は4倍となっております。

鉄道が通過していない本町においては、自動車への依存度が極めて高く日常生活に欠くことの出来ない交通手段であり、高速道路の整備をはじめ一般生活道路の整備に対する要望が多い。

特に、町民が日常的に利用する身近な生活道路は、歩道の未整備区間や幅員が狭隘で通行不便な道路が多く、安全で安心に暮らせる道路整備が望まれている。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式 ③

山形県河北町

- ア 地域活力を高める高速道路及び高規格道路ネットワークの整備
- イ 安全で安心な暮らしを支える地域生活幹線道路網の整備
- ウ 既存道路の長寿命化対策・維持管理等に対する支援策の確立

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

山形県河北町

| ○重点事項 | ○代表事例 | ○期待する効果や評価等 | ○その他 |
|------------|--|--|------|
| ・既存道路の長寿命化 | <p>ふるさとの道保全事業の創設</p> <p>積雪・寒冷が甚だしい市町村の一般生活道を対象として、積雪・寒冷や経年劣化により生ずる道路の維持補修について、国の査定のもとに財政支援を行い、雪国のふるさとの道の長寿命化を図る制度の創設</p> <p>補助対象</p> <ul style="list-style-type: none">・積雪、寒冷により劣化が進行する舗装面の補修・安全で安心な交差点への改良・障がい者へやさしい段差のない歩道への改修 | <p>高度経済成長期に築造した道路が多く、今後、老朽化が進み大規模改修が必要な道路が増大する。</p> <p>そのような道路を予防的、かつ計画的に補修することにより道路の長寿命化を図るとともに、道路管理経費の削減を図る。</p> | |